

ここから始まるきものの未来…



第三回

秋の松美苑

◆会期

十月二十四日(金) 二十五日(土)
二十六日(日) 二十七日(月)

◆会場

松屋ビル二階
ギャラリーホール



ごあいさつ
天高く澄み渡る空に、日々深まる秋を感じる季節となりました。日頃は格別なお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。秋の新作発表会『松美苑』も、おかげ様で第三回目を迎えることができました。今回は、数々の松屋オリジナル作品を手掛けていただいている東京友禅作家「加納知之先生」の最新作を始め、二大産地である京都・西陣と新潟・十日町で一流の職人さん達と日々作品創りに切磋琢磨している、若き後継者のお二人をご紹介します。瑞々しい感性と卓越した技から生まれる数々の作品は、まさに今の時代にふさわしい凛とした美しさに溢れています。当日は『松美苑』を華やかに彩る「うつくしきもの」の競演を、存分にお楽しみいただければ幸いです。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

平成二十六年十月吉日 うつくしきもの松屋 店主 宝子山賢祐

「想いを染め、一心に織る」松美苑は私たちの創作原点です。



日頃は松屋様を通じて私の作品をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。宝子山社長のオリジナル作品創りへの熱い情熱に感銘を受け、『松美苑』に参加させていただいて早や三回目を迎えました。

今回もお召しになる方が心からワクワクしていただけるような作品を、丹精込めて創作いたしました。皆さまにご覧いただければ、幸いです。『松美苑』にぜひともお出掛け下さいませ。心よりお待ちしております。

東京友禅作家 加納知之
〔展覧作品〕訪問着・つけさげ・小紋・絵羽コート
染袋帯・染九寸名古屋帯

越後十日町で、七十有余年の歴史を持つきもの工房「青柳」と申します。今回松屋様が主催される『松美苑』に初めて参加させていただきますこと、誠に光栄に感じております。松屋様の日頃からの着物を通じた和文化的啓蒙活動に賛同し、これからは松屋様と想いをひとつにして、着物ファン創りに取り組んで参る所存です。当日は私共の商品にたくさんのご批評をいただき、今後の新しい着物創りの礎にしたいと存じます。皆様方には多くのご来臨を賜りますことを、心よりお祈り申し上げます。

株式会社青柳 専務取締役 青柳蔵人
〔展覧作品〕訪問着(染・織)・小紋・袖着尺
おしゃれ袋帯・九寸名古屋帯

京都・西陣にて、六代に亘つてきもの愛好家向きの帯を創作しております「工芸帯地安田」と申します。茶席の帯屋として創業した弊社ですが、私なりの感性で今の時代にふさわしいモダン感覚なデザインの帯にも果敢に挑戦しています。宝子山社長の強いご意向で今回初参加いたします『松美苑』では、「安田呉遊」として創作致しました「現代の守・破・離」と言つべき新作帯の数々を、ご覧いただければと存じます。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

工芸帯地安田 六代目 安田呉遊
〔展覧作品〕袋帯・九寸名古屋帯

utsukusikimono matsuya
うつくしきもの



逗子銀座通り中央 逗子市逗子1-6-1
フリーダイヤル 0120-073-529 / TEL 046-873-1000
営業時間 AM10:00~PM7:00 (1月~2月はAM10:00~PM6:30) 毎週水曜定休
<http://matsuya.gr.jp> うつくしきもの松屋 検索